一般社団法人　洛陽労働法務･キャリア支援機構

季刊　らくよう会報　晩秋第4号　平成28年11月

京都　養源院（淀君創建、お江の方再建）

京都の会、ありがとうございました

秋の季節が今年は短かったようです。皆様におかれましては、ご健勝のことと存じあげます。

１０月１日と2日に京都企画を実施致しましたが、おかげさまで大盛況でした。これも、皆様のご支援あってのことと、あらためてお礼申し上げます。

この企画は、東京方の「第五回京都歴史探訪会」と、京都方（関西支部）の「講習会＆懇親パーティ」を当会初の同時開催として実施したものです。とにかく無事に終了し安堵しております。

これを機に、当会の理念をご理解いただき、関西支部に入会希望して頂ける方も増えており、新しい仲間ができて、力強い限りです。

今後とも、しっかり運営して参ります。引き続き、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

理事長　中川直毅

１０月２日の関西支部講演会。当日は５４名の方に参加いただきました。講師の桶谷　浩先生から公的年金を楽しく、やさしく解説して頂きました。

講師　社会保険労務士　桶谷先生

京都　妙心寺　本堂

アランベェールホテル京都の
講習会会場はほぼ満席です

「京都への、想い・思い・おもい」

㈳洛陽労働法務・キャリア支援機構
事務所管理委員長　佐藤和美
（弘電社　人事部　採用研修課長）

こんにちは、佐藤和美です。

私の当会との出会いは、理事長の中川さんと産業カウンセラーの資格取得の研修で出会い、『社会貢献する友愛の会があるよ』と聞き、志に賛同して、この集まりに参加しました。それからはや五年程が経ちました。

当会会員の志をひとつにしている大きな要素として、「友愛の精神」と「京都＝洛陽」がキーワードになっていると思います。とりわけ京都については、理事長をはじめ、会員の多くの方々の出身地であり、学生時代を過ごし方たちの青春の街でもあり、そして、東京出身でも「京都大好き」な方たちの集う根底にもなっていると思います。私も京都が大好きです。

この度、京都支部が発足し、益々会を発展させるべく活動を初めたことはとても喜ばしいことだと思います。東京本部や京都支部にメンバーが集っておられるのも、皆さんが、京都で活躍した幕末の志士の如く、今、日本人が必要としているのであろう問題・課題の解決にできるだけ力を貸して、社会に貢献して行こうとの志からだと思っています。当社団法人では、仲間を募っています。よろしくお願いします。

私も微力ながら、京都に行く機会を度々作り、当会の根底にある『洛陽』の精神、京都の歴史文化を身をもって学んでいくつもりです。

※京都支部の正式名称は「関西支部」です。

N氏お友達～会員電撃紹介

写真左・・・中川

京都市出身、東京都足立区在住、京都産業大学卒業、青山学院大学大学院法学研究科修了。当法人の創設者であり理事長。こよなく京都市と足立区を愛する社労士。誘いがよくあり、人事法務部長として3社転職するも、26年間勤務した日清紡の企業姿勢をビジネスの基本としている。現在も東証上場企業の人事部長の要職にある。

写真右・・・近藤さん

千葉県出身。青山学院大学大学院法学研究科修了。社団法人副理事長。近藤社会保険労務士事務所所長。著書は安全衛生法や労災保険法等と幅広く改訂含め十数冊ある。創設者とは青学校友。

このコーナーは、会員・賛助会員の皆さんと、創設者との交友関係を紹介しながら、ご経歴、お人柄を紹介いたします。したがいまして、編集人からの無手勝流の電撃紹介が特長です。

人事労務・経営法務の窓

過労死等防止対策白書が初めて登場

10月7日、厚労省は、過労死防止対策推進法に基づく白書を公表しました。過労死等の実態を解明するために、労働時間だけでなく生活時間の状況や労災認定事案のデータベースの構築等の調査研究のほか、過労死等防止対策に取り組む民間企業の活動事例が紹介されています。

マタニティハラスメント防止措置

平成29年1月から、改正男女雇用機会均等法のマタハラ防止措置の義務化が施行されます。今年8月に厚労省の指針が公布されています。この指針では「マタハラ防止の方針の明確化」「相談体制の整備」「事後の迅速且つ適切な対応」「相談者のプライバシーの保護」などの措置を講じることとしています。

とりわけ、迅速且つ適切な対応のためには、事実関係が把握できる専門知識の担保、被害者に対する配慮措置、再発防止措置の実施などについては、しっかり実務ベースの対応ができるようにしておく必要があります。

法学概論～民法の立ち位置とは

民法は明治31年に公布されました。その後も現在に至るまで民法の骨格はほとんど変わっていません。司法のもっとも基本的な法律です。

最高法規は憲法です。「法律」はその下にあり、立法府が作ります。更にその下には「命令」があり、こちらは行政府が作成します。色々見解はありますが、私法とは、国民同士の関係、私人間について定める法律を指します。別に公法というのもあり、こちらは国家や地方公共団体と国民の関係を定める法律のグループです。

民法は私法の一般法と言われており、これに対して、「労働基準法」「借地借家法」「消費者契約法」などは特別法と言われています。これら特別法は特別な目的のために制定されたもので、その規定において民法の定めよりも優先されます。

例えば、労働法（労働基準法や労働契約法などの総称）は労働者保護を目的としています。民法の契約自由の原則の考え方や、「雇用」の規定と異なる定めをしており、その範囲では民法より優先されます。逆にみると、労働法が属する労働法群は、労働者保護の立場から、民法に修正を加えていることになります。また、労働法に定めのないような法律関係については、民法に戻って考えていくことになります。

このように、民法は私人間の法律関係の全ての基本となる法律です。

10月1日の第5回京都歴史探訪会～レア歴史探索編

因みに、第6回は2017年3月11日（土）～12日（日）です。

退蔵院。誰もいない、500年前建築の重要文化財の縁に座っています。

智恵光院通下立売西入ルの京町屋を見学しています

この御陵を拝むと来世は美女で生まれてこれるとの伝説が・・・。

絶世の美女の誉れ高き鳥羽天皇中宮（皇后）藤原璋子の御陵

8世紀の平安京造営時の都市設計の際の基軸となった岩の前で

10月1日の第5回京都歴史探訪会～伝統文化編

因みに、第6回は2017年3月11日（土）～12日（日）です。

京都市内の家の軒先の屋根の上に必ず置いてある魔よけの「鍾馗」さん

秀忠の娘、東福門院和子と共に上洛し、京都に永住した御典医奥渓家。

北野天満宮のお祭り。ずいき祭りの壮麗な行列に偶然出会いました。

写真コーナー

10月2日　関西支部　講習会終了後の懇親パーティ

10月2日の関西支部パーティ～その1

10月2日の関西支部パーティ～その2

10月2日の関西支部パーティ～その3

10月2日の関西支部パーティ～その4

写真コーナー

10月1日～10月2日　京都企画の番外編

三木半旅館での懇親会～東京から参加の15名の皆さん

京都企画を支えて頂いた、TRAD社会保険労務士法人京都事務所の皆さん。左から、田中さん、田中社労士先生、田畑社労士先生（社団法人副理事長）、鈴木さん。同法人は、田畑先生が代表で、東京九段下、浜松、京都寺町の三つに拠点を有して、全国展開されています。

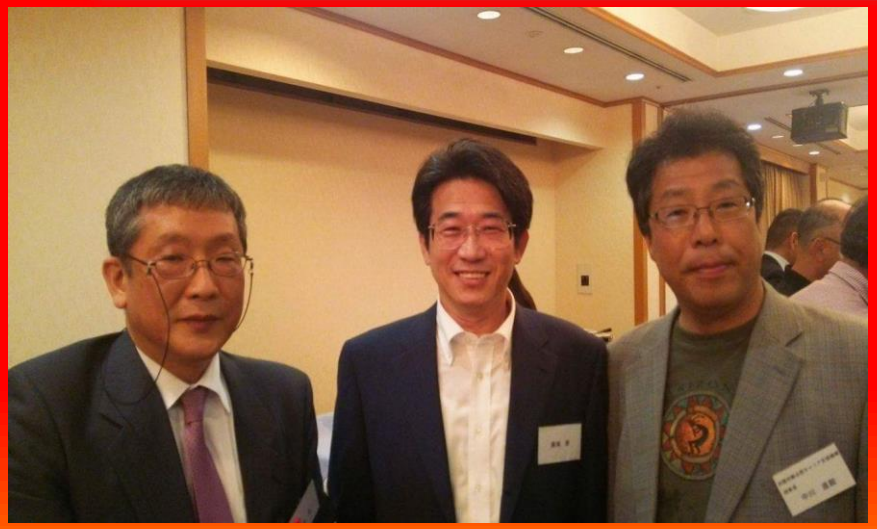
老舗旅館「三木半旅館」

左から、山崎昭和薬品化工歯科部長、田畑社労士先生、森居副理事長

三次会の強者。岡本さん、芝田さん、岸田さん、田畑先生、芝田さん

写真コーナー

京都企画　専門家の方達にも多数ご参集頂きました



左から、桶谷社労士先生、廣瀬税理士先生、社労士の理事長

中小企業診断士の坂下先生（左）、㈱中村屋執行役員、社労士の大野先生

←岐阜県社労士会の森　先生（左）、滋賀県の磯先生（右）

←中小企業診断士の残間常勤監事（左）、社労士の横山先生

右の写真は、中川理事長（左）と山地弁護士先生（右）

【当日参加され、本号で写真掲載しきれなかった専門士業、専門家の皆様】
堀江社労士先生、田坂社労士先生、石川社労士先生、田坂文化学園大学名誉教授、佐々木司法書士先生。

本棚

「京都の平熱」
鷲田清一（元大阪大学総長）
講談社学術文庫　1037円

京都大学で学んだ哲学者が、京都市バス206号系統に乗って、京都駅から東山通り、知恩院前、京大前、船岡山、千本通りを経て元に戻る。京都市内の半周を辿りながら、京都は、聖域、学問、遊学が混じり合う不思議な要素で構成されているとして、その解明を試みている。サブタイトルが「哲学者の都市案内」と堅いのですが、実際は「ぶらり一人旅」的で大変楽しく読めます。とくに京都に土地勘のある人には絶好な書籍です。

講習会等の予定

◆2016年12月3日（土）13：30～15：30
「メンタリティマネジメント～いきいきと働くための5つのヒント」
＠日清紡NLUホール中野　セミナールーム　JR中野駅南口徒歩6分　無料
講師：江口　毅先生　（社団法人理事研修委員長、精神保健福祉士、産業能率大学講師）

■2016年12月9日（金）19：00～21：00　受付開始18：40～
「年忘れ！！ビジネス交流会　」
＠青学アイビーホール　レストラン「フィリア」　表参道駅徒歩5分　青山学院大学横
参加費　正会員・賛助会員・サポート会員6000円　非会員6500円

■2016年12月17日（土）18：00～20：30　集合：現地にて17：50～
「関西支部　京都忘年会」
＠がんこ二条苑　木屋町通り二条下ル　元山縣有朋別邸跡　参加費　一律5000円

◆2017年　1月21日（土）14：00～16：00
「自らの介護を考える～今知っておくべき20年後の介護を取り巻く環境とは」
＠京都労働者総合会館ラポール京都　市バス四条御前バス停前　無料
講師：田畑啓史先生　（社団法人副理事長、社会保険労務士）

2014年12月社団法人の理事会の様子

当社団法人は、社団法人に係る法令と定款、会則に基づいて、適法適正な運営を行っています。会社の取締役会にあたる「理事会」は年四回、同じく株主総会にあたる「社員総会」は年一回開催しています。

編集後記

会報第４号をお届けします。

今回は１０月１日から２日かけて実施されました、「京都企画」の特別号との位置付けで３頁増しにて編集しました。したがいまして、写真も掲載できるギリギリの数を載せました。それでも、まったく写っていない方は「ごめんなさい」ということで。

本号は、基調カラーを、赤色、黄色、緑色と紅葉していく木々をイメージしました。

発行人～
一般社団法人　洛陽労働法務・キャリア支援機構
会報編集人　中川直毅